

議題 2

世界遺産の趣旨と 百舌鳥・古市古墳群の概要



平成24年6月11日
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進民間会議

2012/仁徳天皇陵古墳(南東から)



世界遺産とは

世界遺産の種類

人類全体のために保護を図るべき世界の遺産として、ユネスコが認定したもの。

文化遺産・・・顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観

自然遺産・・・顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地などを含む地域

複合遺産・・・文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産

世界遺産の目的

- ・一国にとどまらず人類全体にとって、貴重なかけがえない財産
- ・世界遺産条約の目的は、「顕著な普遍的価値」を有する文化遺産及び自然遺産を認定し、保護、保全、公開するとともに、将来の世代に伝えていくこと。
- ・戦争や紛争などでの損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とする。

2012/6/11



世界遺産の歴史

世界遺産条約

- 1972(S47)年 第17回ユネスコ総会で、世界遺産条約(正式名「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」)を採択
- 1975(S50)年 世界遺産条約発効
- 1978(S53)年 世界遺産登録開始
(各国から提出された暫定一覧表記載の資産のなかから登録される)
- 2012(H24)年 世界遺産数936件、条約締結国188カ国
(文化遺産725件、自然遺産183件、複合遺産28件)
代表例:メンフィスとその墓地遺跡—ギーザからダハシュールまでのピラミッド地帯(エジプト)
秦の始皇帝陵・万里の長城(中国)、アンコール(カンボジア)、
ローマの歴史地区(イタリア・バチカン市国)、タージ・マハル(インド)、
モン・サン・ミッシェルとその湾(フランス)

地域別の現状

ヨーロッパ・北米 50カ国 452件 アジア・太平洋 31カ国 205件 ラテンアメリカ・カリブ 26カ国 127件
 アフリカ 30カ国 82件 アラブ諸国 16カ国 70件

2012/6/11



日本における世界遺産

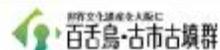
1992(H4)年 世界遺産条約
締結

1993(H5)年 登録開始
(法隆寺・姫路城・屋久島・白神山地)

2012(H24)年 登録件数16件
(文化遺産12件、自然遺産4件)

資産名	登録年	
法隆寺地域の仏教建造物	H 5 年	文化遺産
姫路城	H 5 年	
古都京都の文化財	H 6 年	
白川郷・五箇山の合掌造り集落	H 7 年	
原爆ドーム	H 8 年	
厳島神社	H 8 年	
古都奈良の文化財	H10年	
日光の社寺	H11年	
琉球王国のグスク及び関連遺産群	H12年	
紀伊山地の霊場と参詣道	H16年	
石見銀山遺跡とその文化的景観	H19年	
平泉	H23年	
屋久島	H 5 年	自然遺産
白神山地	H 5 年	
知床	H17年	
小笠原	H23年	

2012/6/11



紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県・奈良県・三重県)



姫路城(H5)



世界遺産登録への道

○ユネスコ世界遺産暫定一覧表記載資産

日本 12件
世界 1560件

○条約締結国は毎年1件をユネスコに推薦できる

推薦資産数: 平成24年まで 各国2件
平成25年から 各国1件

○年々登録数が減少している

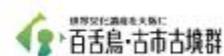
登録数: 平成12年 61件
平成23年 25件

○年々厳しくなる登録

「新たな資産には新たな理論が必要となる」

暫定一覧表(12件)	記載年
古都鎌倉の寺院・神社ほか	H4年
彦根城	H4年
佐渡金山	H22年
富岡製糸場と絹産業遺産群	H19年
富士山	H19年
飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群	H19年
長崎の教会群とキリスト教関連遺産	H19年
国立西洋美術館(本館)	H19年
北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	H21年
九州・山口の近代化産業遺産群	H21年
奈良・神ノ島と関連遺産群	H21年
百舌鳥・古市古墳群	H22年

2012/6/11

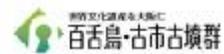


百舌鳥古墳群

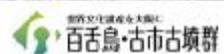


- 大阪府堺市所在
- 東西4km、南北4kmの範囲に広がる
- 前方後円墳21基、方墳5基、円墳14基など総数40基が残る
- 仁徳天皇陵古墳(墳長486m)、履中天皇陵古墳(360m)、ニサンザイ古墳(290m)などの巨大古墳
- 4世紀後半から5世紀後半にかけて古墳が造られた

2012/6/11



百舌鳥古墳群(東南より)



古市古墳群

- 大阪府羽曳野市～藤井寺市にかけて所在
- 東西4km、南北4kmの範囲に広がる
- 前方後円墳20基、方墳17基、円墳7基の総数44基が残る
- 応神天皇陵古墳(墳長425m)、仲姫皇后陵古墳(290m)、仲哀天皇陵古墳(242m)などの巨大古墳
- 4世紀後半から6世紀前半にかけて古墳が造られた



古市古墳群分布図

2012/6/11

世界文化遺産の土脈に
百舌鳥・古市古墳群



古市古墳群(南より)

2012/6/11

世界文化遺産の土脈に
百舌鳥・古市古墳群

百舌鳥・古市古墳群の価値とは

百舌鳥・古市古墳群の特徴

世界に誇る古墳群

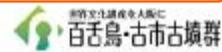
- ・世界最大級の墓
仁徳天皇陵古墳や応神天皇陵古墳は、規模や面積においてエジプトのピラミッドや中国秦の始皇帝陵と並ぶ世界最大級の墳墓。
- ・多様な墳形と規模があり、当時の社会構造がうかがえる点は世界でも類例がない。
- ・日本を代表する古墳群(国内の古墳約20万基の代表)
4世紀後半から6世紀前半にわたる、日本最大の面積・規模の古墳を含む古墳群。
5世紀代における古墳の造営技術や葬送儀礼に関する規範の発信源。
九州から東北南部の各地域において百舌鳥・古市古墳群の縮小版というべき古墳群を築造。
- ・豪華な副葬品
東アジアとの交流によってもたらされた副葬品が出土。
倭(日本)が東アジア社会に一躍登場する国際的背景を物語る巨大記念物。

都市との共存

現代への継承と共生

- ・都市化の波のなかで共存
地元住民等によって、現在まで守られ続け、市街地の中で共存しており、都市化の波と共生してきたことは極めて貴重。

2012/6/11



推薦書の作成

推薦書に記載する主な内容

- 顕著な普遍的な価値…… 国際的に理解できる資産の価値を証明
例) 日本最大の面積・規模の古墳を含む古墳群
古代国家の初期段階を示す巨大記念物
当時の社会構造を反映する物象
国内及び国際交流を反映する物象
- 完全性、真正性の証明…… 考古学研究や文献資料の考証により、4世紀後半から6世紀前半に築造されたもので、各古墳の墳丘が原型を保つことを証明
- 保護管理…… 顕著な普遍的な価値、完全性・真正性の状態を将来に亘り維持、強化できる体制を担保すること
例) 包括的保存管理計画の策定
緩衝地帯の設定
経過観察の体制

2012/6/11

